（出所）2024 年２月２０日 衆議院 総務委員会での日本銀行・財務省の答弁を基に、福田昭夫事務所において作成

『日本の国は簡単に沈まない ！!』

－　わが国の保有資産（日銀・財務省）と国と地方の債務残高から考える　－

立憲民主党　衆議院議員　福田 昭夫

【わが国の保有資産】 2024 年 2 月 20 日 衆議院 総務委員会における日本銀行・財務省の答弁から

１．国全体の金融資産（2023 年 9 月末）			９，５８９　兆円
（１）家計（個人）の金融資産（2023 年 9 月末）	２，１２１	兆円	４，５１３　兆円
（２）非金融法人の金融資産（2023 年 9 月末）	１，５０８	兆円	
（３）一般政府の金融資産（2023 年 9 月末）	８１４	兆円	
（４）民間・非営利団体の金融資産（2023 年 9 月末）	７１	兆円	
（５）金融機関の金融資産［預り金も含め］（2023 年 9 月末）			５，０７６　兆円
２．法人企業の内部留保資金［金融業・保険業を含む］（2022 年度）			６２７．５兆円
３．対外純資産残高（2022 年 12 月末／国際収支統計）			約　４１９　兆円
４．外貨準備金（2022 年度／外為特会）			約　１６９．７兆円

【国と地方の債務残高の見込額】 2024 年 2 月 20 日 衆議院 総務委員会における日本銀行・財務省の答弁から

○ 2023 年度末（令和 6 年 3 月末）見込額	１，２８５　兆円

※　わが国は、国と地方を合わせて、1,200兆円超の多額の債務を抱えています。

　一方、わが国は1,200兆円超を上回る多額の金融資産を持っています。しかも、国際収支(経常収支)も1980年代から黒字で、対外純資産残高は約419兆円と、世界一の金持ち国となっています。経常収支が黒字で発行している国債は全て自国の通貨建て(円)で発行していますから、わが国が簡単に財政破綻することはありえません。

　また、世界各国の国債の信用度を示すCDS（クレジット・デフォルト・スワップ）のわが国の保証料率は、ドイツに次いで2番目に低い率であり、信用度が高いことが示されています。

　なお、国債は、子や孫たちへの付け回しではありません。国債の債務者は政府であり、国民は債権者です。わが国が財政破綻しない限り、国債は、子や孫たちへの財産（債権）の仕送りです。

※　今、行うべき大改革は、年々必要となる ①子育て ②年金 ③医療 ④介護 ⑤障害福祉 ⑥食料安全保障 等の費用を、消費税を引き下げて、消費税創設以来、優遇され続けてきた大企業と富裕層の法人税・所得税（金融所得課税を含む）等を担税力に応じて負担を求める、税財源の賢い集め方をする改革です。